

・ソリューション型インターンシップの志望動機

- 貴社に興味があったから
- トヨタ自動車の子会社であるので非常に安定した経営基盤を持っている
- トヨタグループの中核会社である
- さまざまなコースが存在しており、それぞれが非常に重要な役割をもっている
- 特にエンジニアリングコースに関しては説明会でワイヤーハーネス設計はトヨタ自動車の車の設計に直接携わる業務であるので、車好きな人におすすめであると聞いてより関心を持った。
- エンジニアリングコース以外でも、コーポレート&ファイナンスコースについてはファイナンス分野について興味が湧いた。
- 3つのコースの中でも BtoC であること、アジャイル開発を行っている点が良かった。
- 自分の開発したものに対する意見や感想を聞けることという点が良かった。
- 繰り返し開発とリリースを行うので、常に新しいものに対して挑戦できるところが良い。
- チームで開発をするという点が良かった。研究室でもチームで開発しているので、役割分担で効率的に開発ができることを知っている、コミュニケーションに慣れているので、それが活かせると思った。
- 実際に貴社のオフィスの雰囲気を体感できる貴重な機会であるので。

・主な履修科目や研究課題

- 貴社でも使われている Java や、C 言語、HTML や CSS、研究に必要であったので Python を履修した。
- 研究課題は Python の得意分野である画像処理。Web カメラからリアルタイムで画像を入力してそれに写っている顔とその表情を認識して感情を推定する技術を研究開発している。
- 画像処理に関しても講義を履修したのでデータの分析や技術の仕組みを理解することができた。
- 1 年生の時からその研究室に配属されることを目指して履修するべきものを考えて履修をしていた。
- 特に Python と画像処理関連の講義は必要になると考えて履修をしていた。
- また就職をした後でも数学系の知識は必須になるので、難しいのは承知で積極的に履修をした。
- 大学に入ってからプログラミングに関しての勉強を始めたのでプログラミング言語はすべて未知のものであったが、必要になると信じて臆せず挑戦をした。